61 01 10 03 02 007

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月29日(金)

事務事業	中学生補習学習運営事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6134
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり	根拠法令個別計画等	社会教育法第５条				
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	各学校で実施する補習学習（数学、英語、国語を中心とした基礎学力向上のための学習）支援のため、中学校学習支援員を配置し、大学生を中心とした学習支援サポーターを派遣する。
目的 ※何のために	進路決定を控えた中学３年生の中で、経済的な理由で通塾できない生徒などを中心として、学習に不安を感じている生徒の学力を保障するために実施する。
対象 ※誰・何を対象に	市内市立中学校の全生徒のうち、学習に不安を感じている生徒で受講を希望する生徒
手段 ※どのように	各中学校の実態に応じて補習を実施する。該当校担当教員の計画により、中学校学習支援員及び大学生の学習支援サポーターが補習の支援を行う。
成果 ※何を求めるか	学習に不安を感じている生徒の学習意欲及び学力を向上させ、進路指導の充実に資する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（非常勤職員）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費	中学生補習学習運営事業	5,195,180
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- ・大学生学習支援サポーターの派遣（募集・調整）
- ・中学校学習支援員の配置
- ・各中学校で実施する補習学習の実施日及び派遣人員の調整
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			学習支援サポーターの募集 補習学習の実施　報告書の作成 中学校学習支援員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施　報告書の作成 中学校学習支援員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施　報告書の作成 中学校学習支援員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施　報告書の作成 中学校学習支援員の配置	学習支援サポーターの募集 補習学習の実施　報告書の作成 中学校学習支援員の配置	
事業費	予算（現額）		5,920,000	5,920,000	5,787,000	6,197,000	6,330,000	
事業費	決算額		5,701,300	5,676,140	5,195,180	0	0	
事業費	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
事業費	財源内訳	県支出金	3,737,000	3,675,000	2,603,000	2,603,000	3,885,000	
事業費	財源内訳	地方債	0	0	0	0	0	
事業費	財源内訳	他特定財源	0	0	0	0	0	
事業費	財源内訳	一般財源	1,964,300	1,730,140	2,592,180	3,594,000	2,445,000	
人件費	従事職員数(人)		0.18	0.18	0.31	0.38	0.38	
人件費	人件費相当試算 ※1		1,400,220	1,400,760	2,512,550	3,096,240	3,096,240	
人件費			0	0	0	0	0	
(総事業費試算)			7,101,520	6,805,900	7,707,730	9,293,240	9,426,240	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	補習学習実施回数	目標値	回	870.00	870.00	870.00	870.00	870.00	870.00	□
			実績値		1,472.00	1,604.00	1,446.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全中学校１０校、年間８７回、計８７０回を目標値とする。							
		実施回数									
■	活動指標２	学習支援サポーター派遣述べ人数	目標値	人	270.00	270.00	270.00	270.00	270.00	270.00	□
			実績値		231.00	191.00	169.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１回あたり３名で２７０人を目標値とする							
		延べ人数									
□	成果指標１	補習学習１回当たりの参加生徒人数	目標値	人	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	□
			実績値		11.69	7.37	8.03	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１クラス教室の人数							
		１回当たりの参加人数									
■	成果指標２	補習学習参加後に学習意欲が向上した生徒の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		90.41	91.65	92.07	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%を目標値に設定する							
		受講生徒アンケート結果									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 補習学習実施回数は目標を大きく上回ることができた。 学習支援サポーターは昨年を大きく下回ってしまった。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 補習学習１回あたりの参加人数は、前年を上回った。 実施後の生徒アンケートでは、９割以上の生徒が効果を感じている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　荻野　貴弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中学生補習学習運営事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6134

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

今年度の全参加者の４７．４％が通塾していない生徒であった。参加生徒の９２％が本事業についてよかったと回答している。３年生で９校、１，２年生で８校が効果があったと回答している。実施回数も安定しており、多くの生徒の学習支援が行われている。今後も、量・質ともに充実したものを目指していきたい。

評価者	学校教育課長　下条　徹

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

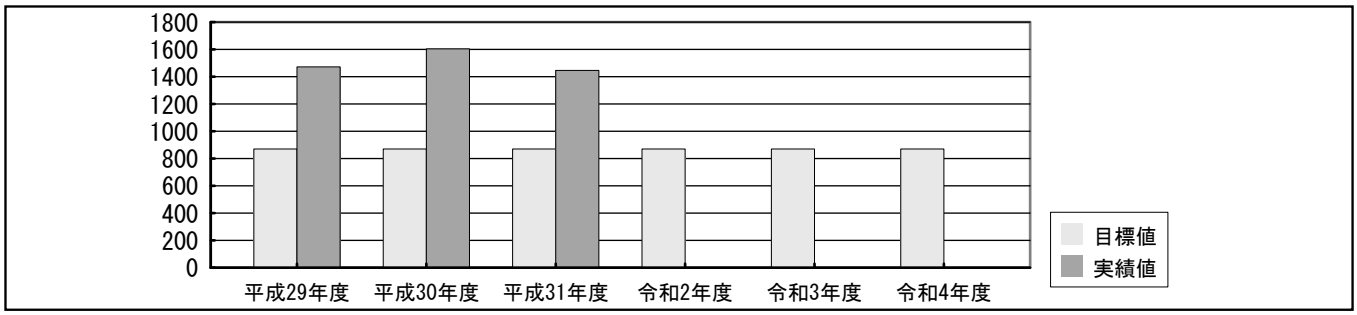
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

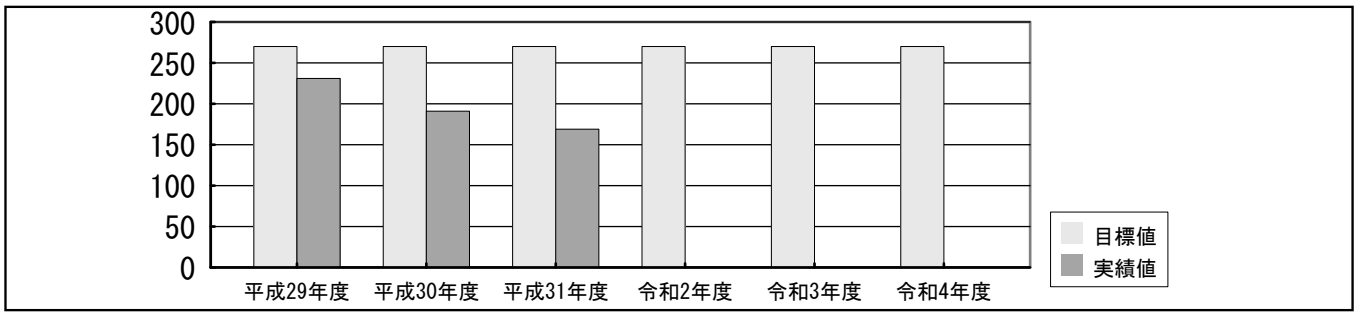
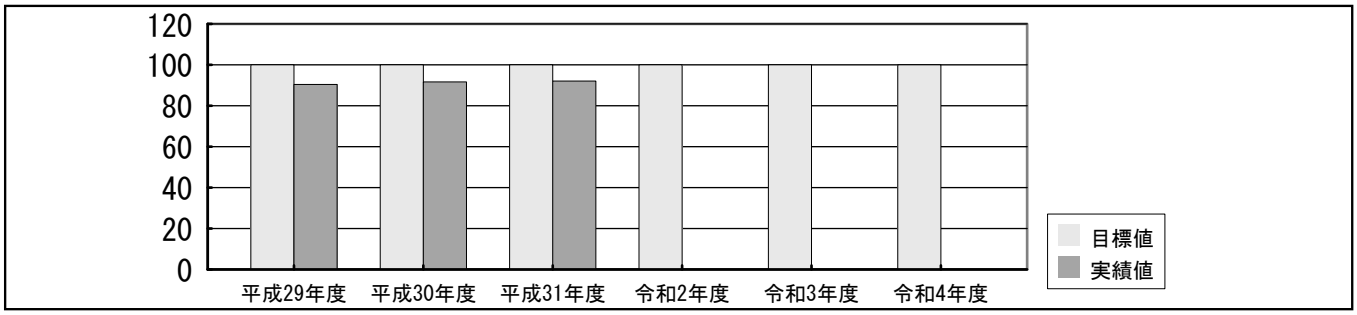
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	補習学習実施回数



区分	活動指標２	指標名	学習支援サポーター派遣述べ人数



区分	成果指標２	指標名	補習学習参加後に学習意欲が向上した生徒の割合